

スマイルタイムに取り組んでいます

十四山東部小学校では、本年度、1年生から6年生まですべての学年が、学級活動の時間を活用してスマイルタイムに取り組んでいます。スマイルタイムは、スリンプルタイム（名城大学 曾山和彦教授考案）の十東小バージョンです。スマイルタイムには、児童たちは3人から4人のグループになり、担任が提示した質問の中からいくつかを選んで相手に尋ねます。このやり取りで大切なことは、「うなずきながら聞くこと」そして「笑顔で聞くこと」です。この活動を繰り返し行うことで、聞き手は、相手の話を肯定的に受け止める態度を身につけていきます。また、話し手は、相手が肯定的に聞いてくれることで安心して話すことができ自己肯定感が高まります。このようにして、「人とのかかわる力」を高めていくことがスマイルタイムの目的です。

本校では、「自分のよさに気付き、友達のよさに気付き、認め合いながら高め合うことができる児童の育成」を目指しています。このスマイルタイムの活動を通して、認め合い高め合う児童の育成を推進していきたいと考えます。



【スマイルタイム 1年生】



【スマイルタイム 6年生】

道徳の授業の研究に取り組んでいます

本年度、十四山東部小学校では、道徳の授業の進め方について教職員が研究しています。児童が、道徳の授業を通して、仲間と考えを伝え合いながら自分の考えを深め、よりよく生活しようとする意欲を高められるようにという願いをもって、各教員が授業に取り組んでいます。先日は2年生、4年生、5年生で研究授業を行いました。どの学級でも、児童が進んで自分の考えを伝えたり、友達と話し合ったりする姿が見られ、とてもうれしく思いました。



【道徳 5年生】



【道徳 3年生】

お願い

児童の登校時間は8時から8時10分です。車などで送っていただく場合も同様ですので、ご協力をお願いします。

子どもたちの活動の様子は、本校ホームページをご覧ください。「れんらくアプリ」の「学校情報」から「学校サイトを見る」をクリックするとホームページが開きます。また、右のQRコードからも開くことができます。

